

平城宮跡資料館 夏期企画展「奈良を測る —森蘊の庭園研究と作庭—」

森蘊(もり・おさむ)は、奈良文化財研究所の初代建造物研究室長を務めた庭園史家・作庭家です。地形実測にもとづいてかつての空間を復元的に考察するという、歴史地理学的手法を庭園研究に援用し、その研究の進展に大きく貢献しました。また、長い年月のうちに遺跡と化した庭園の発掘調査から復元整備までを手掛け、文化財庭園の修復・整備の方法論の礎を築きました。さらに、これらの調査研究の経験からの発想による作庭活動もおこなっており、奈良をはじめ各地にその作例が残っています。

奈良文化財研究所では、森が奈文研に在籍した当時の図面等の研究資料を所蔵しています。この度、資料の整理が一段落したことを受け、これらのうち、奈良所在の遺跡・庭園に関する資料を中心に展示をおこない、森蘊の庭園研究と作庭に関する業績を紹介いたします。(文化遺産部 高橋 知奈津)

主催：奈良文化財研究所 / 共催：京都産業大学

会期：2021年8月7日(土)～9月12日(日)

開館時間：9：00～16：30(入館は16：00まで) / 休館日：月曜日(月曜が休日の場合は翌平日)

ホームページ：<https://www.nabunken.go.jp/heiho/museum/> お問合せ：☎0742-30-6753(連携推進課)



編集 「奈文研ニュース」編集委員会
発行 奈良文化財研究所 <https://www.nabunken.go.jp>
Eメール koho_nabunken@nich.go.jp
発行年月 2021年6月